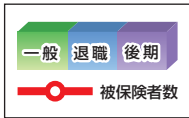
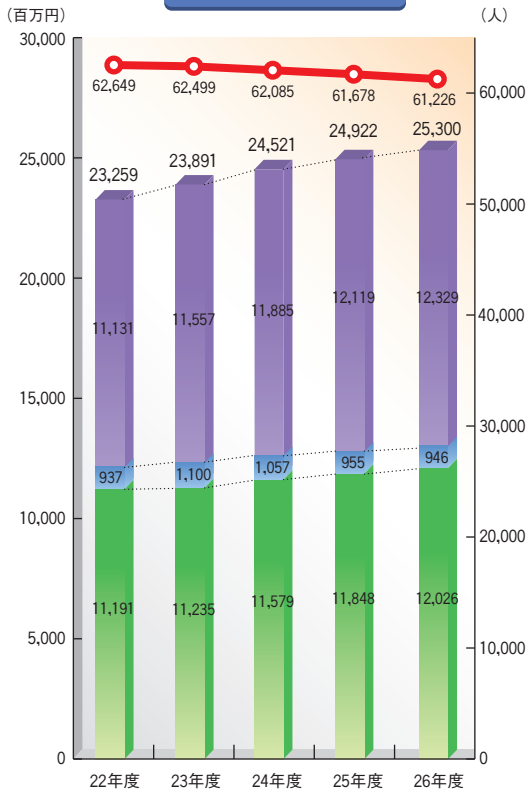


小山市

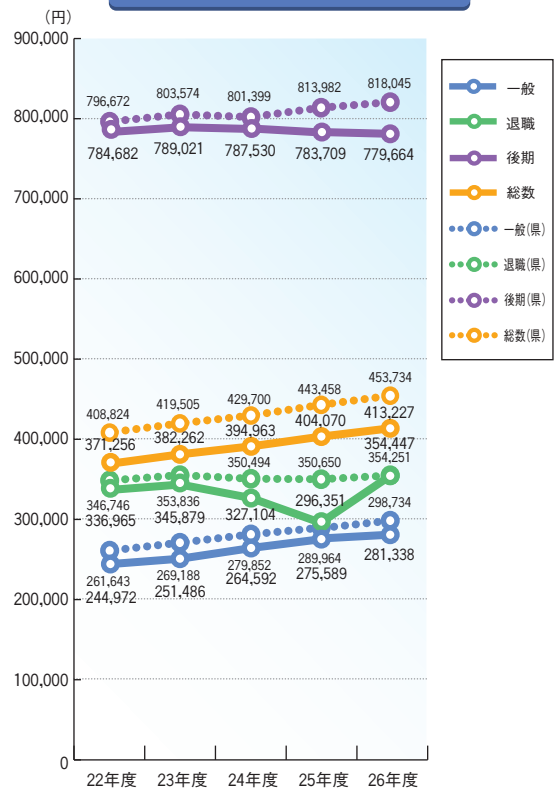
小山市



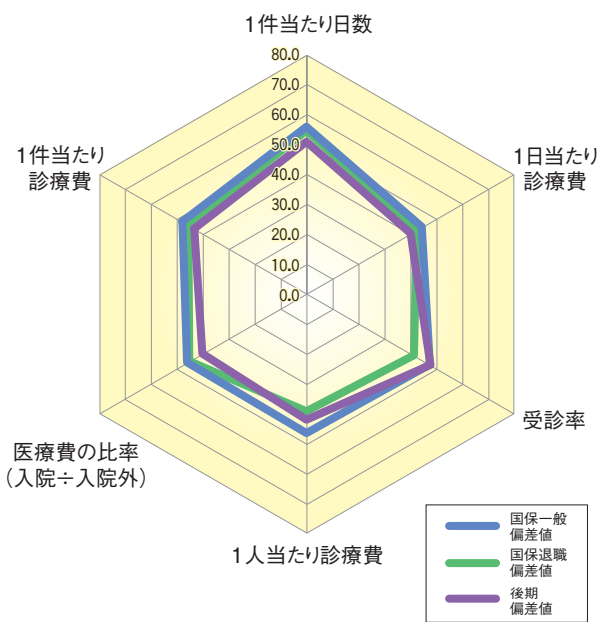
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

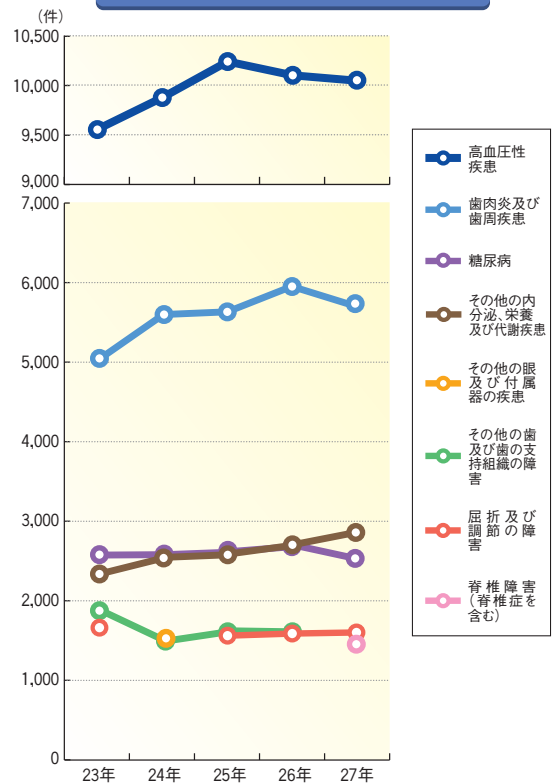


平成26年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

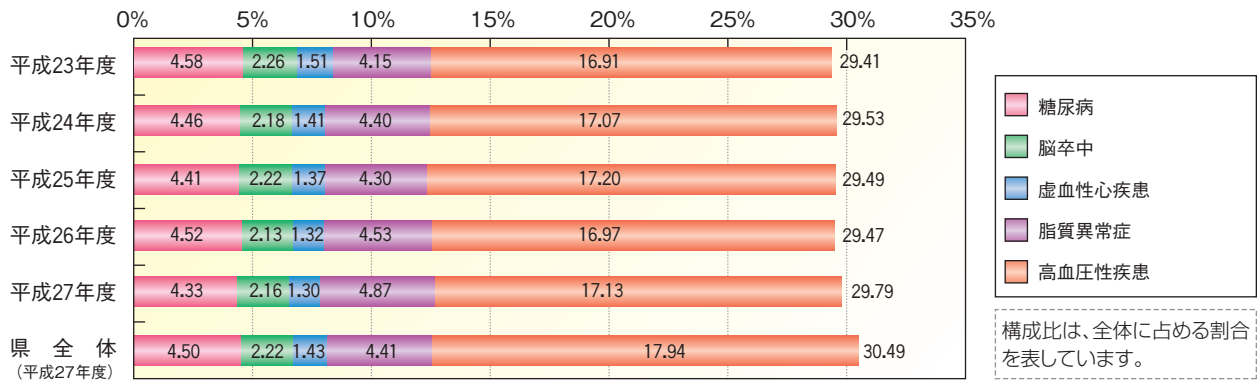


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

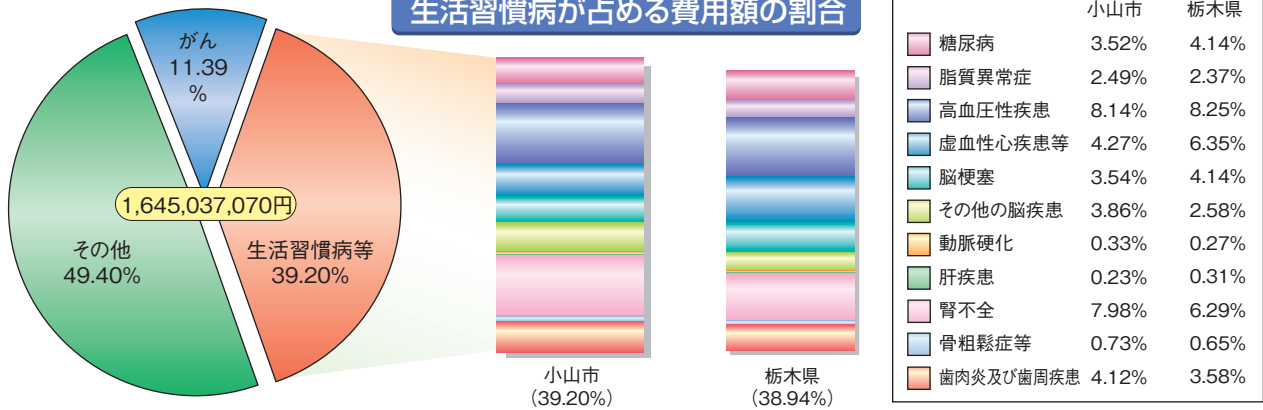
多受診疾病上位6位の推移



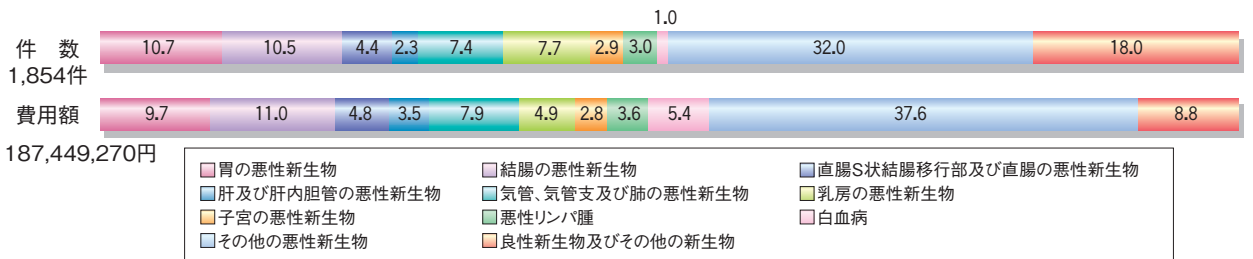
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



小山市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成26年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般12,025,787千円(101.5%)、退職945,665千円(99.0%)、後期12,328,770千円(101.7%)で、全体では25,300,222千円(101.5%)と増加している。()は前年度との比較。

平成26年度平均被保険者数は61,226人で、内訳は一般42,745人、退職2,668人、後期15,813人である。前年度と比較すると全体で99.3%と減少している。

また、平成26年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は413,227円(9,157円増)、一般は281,338円(5,749円増)、退職は354,447円(58,096円増)、後期は779,664円(4,045円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、1件当たりの日数を除きいずれの項目も全ての法別において県の値を下回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成27年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位屈折及び調節の障害、6位脊椎障害(脊椎症を含む)で、中でも5位屈折及び調節の障害は、平成24年と比べ費用額が1.90倍となっている。

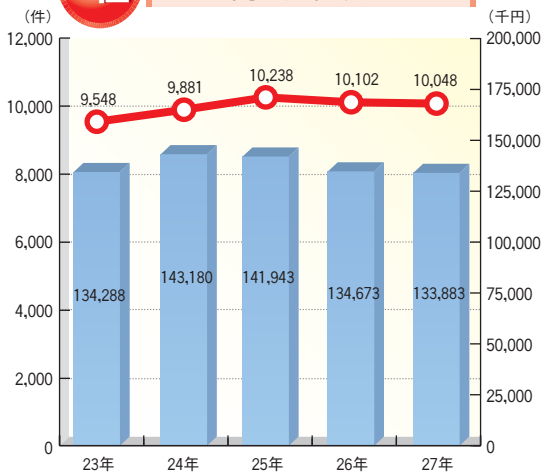
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症の占める割合が増加傾向にあり、県全体と比べても高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成27年5月診療分の総費用額が1,645,037,070円で、がんが11.39%、生活習慣病関連が39.20%を占めている(県全体 がん11.90%、生活習慣病関連38.94%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.14%、腎不全7.98%となっている。

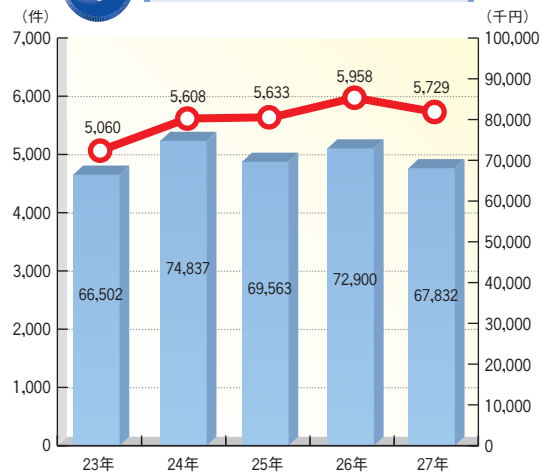
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、費用額では、結腸の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

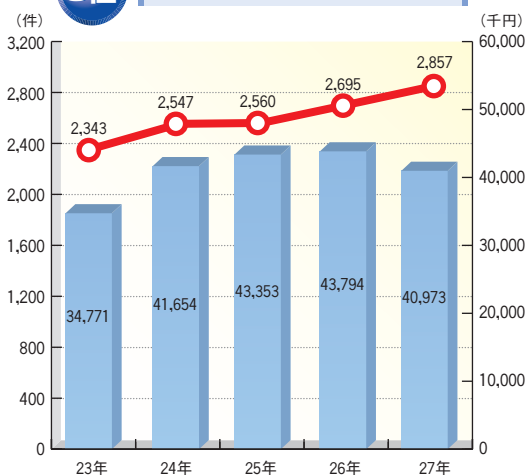
1位 高血圧性疾患



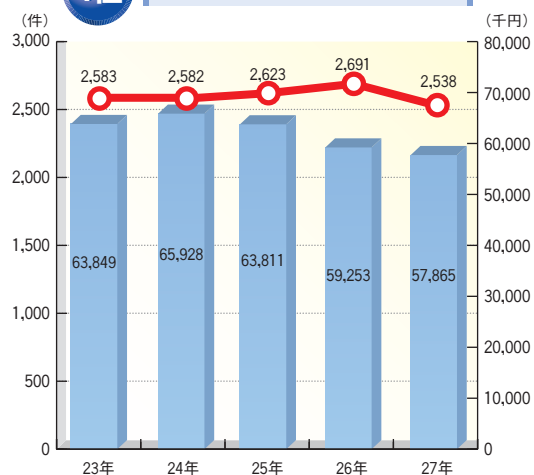
2位 歯肉炎及び歯周疾患



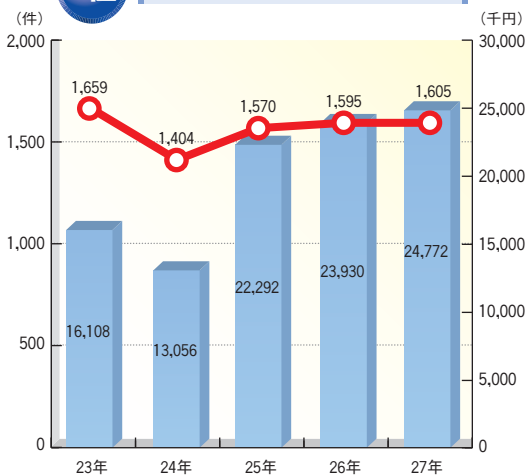
3位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 屈折及び調節の障害



6位 脊椎障害(脊椎症を含む)

